令和６年度　入園のご案内

たのしいこと いっぱい！

学校法人　麻生学園

宮竹幼稚園

目 次

・麻生学園　建学の精神 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
・本学園の教育目標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
・宮竹幼稚園の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
・幼稚園はどんなところ？ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
・幼稚園教育要領 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
・宮竹幼稚園のめざす幼児像 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
・年間保育目標とねらい ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
・宮竹幼稚園の充実した環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
・宮竹幼稚園の特色ある保育内容１ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
・宮竹幼稚園の特色ある保育内容２ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
・宮竹幼稚園　楽しい年間行事 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
・宮竹幼稚園　楽しい１日 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
・楽しい昼食 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
・子育て支援・保護者サポート ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
・令和６年度　新入園児募集要項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
・令和６年度　新入園児募集要項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
・幼稚園送迎バス運行範囲 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７

本学園　建学の精神

麻生学園創立者、前理事長、前学長、教育学博士　麻生　繁樹　書

「至心」とはまごころのことです。
すべての物（人）に慈悲、慈愛の心をもって接するという教え
職員一同、建学の精神を受け継ぎ、誠心誠意、お子様の教育に努めます。

「育ての心」序より(倉橋　惣三選集より)

自ら育つものを育たせようとする心。それが育ての心である。
世にこんな楽しい心があろうか。それは明るい世界である。温かい世界である。育つものと育てるものとが、互いの結びつきに於て相楽しんでいる心である。

育ての心。そこには何の強要もない。無理もない。育つものの偉きな力を信頼し、敬重して、その発達の途に遵うて発達を遂げしめようとする。役目でもなく、義務でもなく、誰の心にも動く真情である。

しかも、この真情が最も深く動くのは親である。次いで幼き子等の教育者である。そこには抱く我が子の成育がある。日々に相触るる子等の生活がある。

斯うも自ら育とうとするものを前にして、育てずしてはいられなくなる心、それが親と教育者の最も貴い育ての心である。

それにしても、育ての心は相手を育てるばかりではない。それによって自分も育てられてゆくのである。
我が子を育てて自ら育つ親、子等の心を育てて自らの心も育つ教育者。育ての心は子どものためばかりではない。親と教育者とを育てる心である。

「育ての心」より　～小さき太陽～

よろこびの人は、子どもらのための小さき太陽である。明るさを頒(わ)かち、温かみを伝え、生命を力づけ、生長を育てる。見よ、その傍らに立つ子どもらの顔の、照々(きき)として輝き映ゆるを。なごやかなる生の幸福感を受け充溢れているを。　〈中略〉　希(こいねが)わくは、子どもらの為に小さき太陽たらんことを。

この文章の中の小さき太陽とは、保育者のことです。『子どもらにとっての希望となるような、太陽のような存在であってほしい』という願いが込められています。

私たち職員は、いつも誰にでも平等に照らしてくれるお日様のように、惜しみない愛情を子どもたちに注ぎ、生きる力の根っこを育て見守る存在でありたいと思っています。

育ての心を持ち、ご一緒に相楽しみましょう

※倉橋　惣三・・1882～1955　日本の幼稚園保育の指導的立場で活動し続け日本のフレーベルと言われた「日本幼稚園協会」の創設者

本学園の教育目標

麻生学園は子どもたちの“根っこ”を育てる教育を行っています。子どもたちの生きる力がしっかりと身についていくように、家庭･社会･幼稚園が協力し合い、連携を取りながら一人一人の育ちをサポートします。

- 土の中で小さな根っこは大きく根を張り（幼児期）
- やがて芽を出し大きな幹となり（児童期）
- 枝葉を広げ咲かせ（青少年期）
- やがては立派な実をみのらせる　（社会人）

①基本的生活習慣を身につける

- 物を大切にする
- 約束や決まりを守る
- 人に親切にする
- 挨拶をする
- あとかたづけ
- 衣服の着脱

- 責任感
- 自主性
- 自省心
- 協調性

②情緒の安定

- 子どもらしさ
- やさしさ
- 同情心
- がまん強さ
- 気力
- 明るさ
- 落ち着き
- 素直さ
- いとおしさ

- 情　操
- 愛　情
- 慈　愛

③道徳性の芽生え

- 助け合う
- 公共物を大切にする
- 譲り合う
- 自分の物と人の物との区別
- 人に親切にする
- 感謝する

- 自主性
- 責任感
- 根気強さ
- 自省心
- 向上心
- 公正さ
- 指導性
- 協調性
- 同情心
- 公共心
- 積極性
- 自立心

④知的発達の芽生え

- 意欲、意志
- 知識
- やる気（根気強さ）
- 驚き
- 見たり、聞いたり、試したり、扱ったり

- 積極性
- 創造力
- 工夫力
- 記憶力
- 行動力
- 向上心
- 指導性
- 自立心

⑤土づくり（家庭・社会・幼稚園）

- しっかりした根っこが大きく育つよう、家庭と幼稚園が手を取り合って協力し合いましょう。

宮竹幼稚園の概要

宮竹幼稚園は昭和 34 年に創立し、令和 6 年度には 66 回目の新入園児を迎えます。開園当時は、のんびりとした田畑に囲まれ、自然豊かな環境に恵まれておりました。
以来、園周辺は年々発展し、住宅地となりすっかり田畑は姿を消し、今では高層住宅も増えています。それと共に、幼稚園も小さな赤い屋根の木造園舎から、昭和 45 年には鉄筋 2 階建ての園舎となりました。平成 16 年には全面改築を行い、木の香りのする明るく開放的な園舎に生まれ変わりました。広い園庭では日々子ども達の楽しそうな声が響き渡り、遊びを通して異年齢の交流も自然に行われ、年長児が年少児を優しくお世話してくれる優しい姿も見られます。

室内にはボルダリングの部屋もあり、全身の体幹が自然と鍛えられたり、集中力や忍耐力も養われたりと、目標に向かい達成した喜びを味わいながら、子ども達は楽しんでいます。

宮竹幼稚園の卒園生約 8,000 名の中には親子二代で通園していただいている方もあり、そのことは大きな喜びです。今後も地域，ご家庭，幼稚園の繋がりを大切にしていきたいと思っています。

1．本園は学校教育法第１条に基づくものであり、幼・小・中・高・大学と系統教育の一環をなす幼稚園（学校）です。

2．本園は幼児の心身の調和的な発達の特性を培い、個性の芽生えを助長し、豊かな感性と慈愛の精神を養い、心と体の健全な発達に重点を置く幼児教育の実践の場です。

3．幼児の心身の発達とその特性に応じた生活を展開する為に必要な施設・設備も整い、閑静で環境にも恵まれた幼稚園です。

4．「教育は人なり」と言われるように本園は、教師による絶えざる研究と実践が行われ、愛と感謝の教育理念に基づいた教育を行っています。

5．本園の教育課程は幼児の心身の調和的発達の実情を考慮すると共に、家庭及び地域の実態や特質を加味したものであり、指導方法としては年齢別クラス割の指導を主としていますが、時には異年齢クラス編成による縦割教育も行っています。

6．本園は２年、３年、４年を通した教育計画に基づき、満３歳児（たんぽぽ組）、年少（桃組）、年中（赤組）、年長（青組）を主体とした教育の実践を行っています。

7．園休日は土曜、日曜、祝日です。（園行事を行う月もあります。）その他、夏・冬・春期の休み及び園で定めた日となっています。毎月、第２・第４水曜日は、午前保育（11 時 30 分降園）です。

8．本園は教育実習生を受入れており、学生と園児の活気ある触れ合いの教育実習の現場でもあります。

9．私立の進学校として「麻生学園小学校」があります。麻生学園小学校は、学校法人 麻生学園及麻生文教学園の麻生学園グループの小学校です。受験をご希望の方は、園長推薦が出来ますので、お申し出ください。

幼稚園はどんなところ？

幼稚園は子どもがはじめて出会う学校です。

学校教育のスタートは幼稚園から

〇「学校」というと小学校からと思っていませんか。幼稚園も学校教育法に基づく「学校」です。
３歳から小学校入学前までの子どもは、全国どこでも共通の教育課程に基づく教育が受けられます。

〇学校教育法第１条（文部科学省）
「この法律で、学校とは、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校とする。」と、学校教育法・第１条に規定されています。
幼稚園は、学校教育法に基づく幼児教育を行う学校です。従って、管轄は文部科学省です。

「遊び」は重要な学習です

〇幼稚園は、遊びを大切にした教育を行っています。
この時期に思い切り遊ぶことで，その後の学びや創造性が豊かになるといわれています。

〇このため、幼稚園では、小学校以降の教育と異なり、教科書を使わず、「遊び」中心の活動を行っています。これらの「遊び」は、「国語」や「算数」などと同じように子どもの将来にとって重要な学習なのです。

小学校以降の学習の基盤は幼稚園で作られます

〇 幼稚園の「遊び」と小学校の「国語」や「算数」などは、一見何のつながりもないように見えるかもしれません。しかし、子どもは、幼稚園で様々な遊びを通して、うまく人とかかわれるようになったり、言葉が豊かになったり、自然の美しさや不思議さなどに気付いたりすることで、小学校以降の学習の基盤をつくっているのです。

幼稚園の目的

◎学校教育法第二十二条

幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的としています。

幼稚園教育の目標

◎学校教育法第二十三条

幼稚園における教育は、前条に規定する目的を実現するため、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとします。

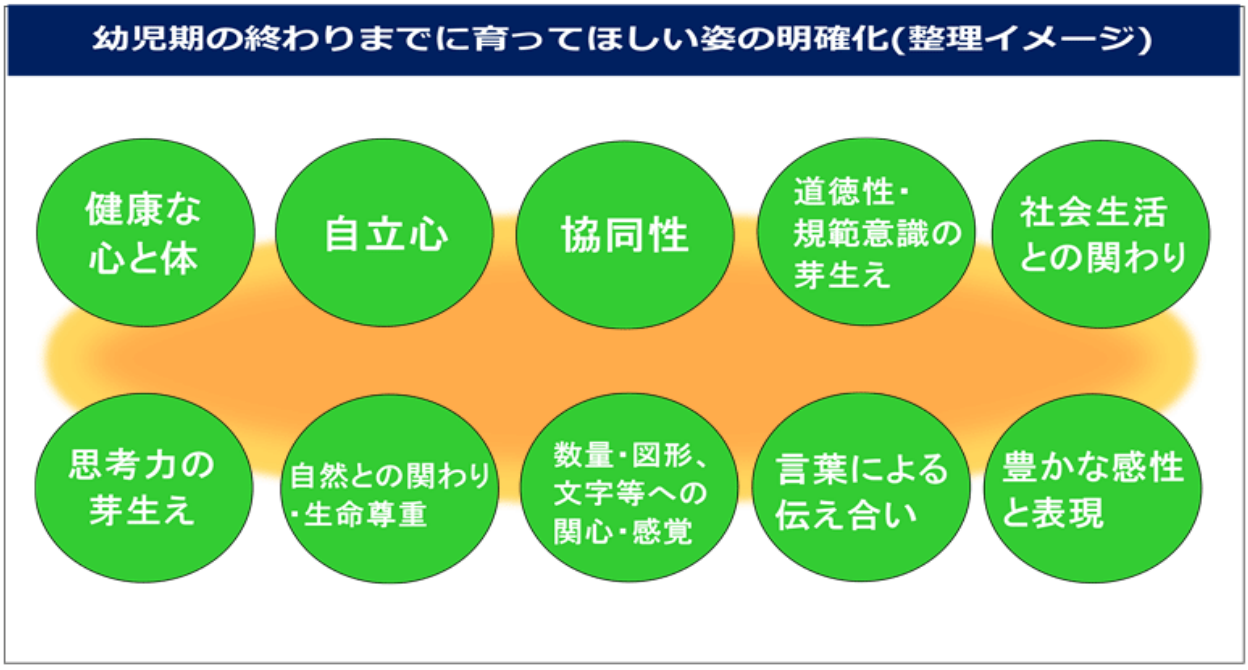
1．健康、安全で幸福な生活のために必要な基本的な習慣を養い、身体諸機能の調和的発達を図ること。
2．集団生活を通じて、喜んでこれに参加する態度を養うとともに家族や身近な人への信頼感を深め、自主、自律及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養うこと。
3．身近な社会生活、生命及び自然に対する興味を養い、それらに対する正しい理解と態度及び思考力の芽生えを養うこと。
4．日常の会話や、絵本、童話等に親しむことを通じて、言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養うこと。
5．音楽、身体による表現、造形等に親しむことを通じて、豊かな感性と表現力の芽生えを養うこと。

幼稚園教育要領

（平成２９年３月告示　平成３０年４月より施行）

小学校の「スタートカリキュラム」につなげて幼児期の教育は、教科を中心とする小学校以上の教育と違って、遊びを中心とした生活を通じて、生涯にわたる人格形成の基礎を培うことが基本です。さまざまな体験を積み重ねるなかで、お互いを関連させながら、徐々に育むこととしています。

そこで、５ 領域を維持しつつも、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として、以下の事項を示しています。



幼稚園教育要領（5 領域）

５領域は、子どもの発達を「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」という５つの側面から捉えたものです。

１．健　　康・・・健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。

２．人間関係・・・他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人とかかわる力を養う。

３．環　　境・・・周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。

４．言　　葉・・・経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。

５．表　　現・・・感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

宮竹幼稚園のめざす幼児像

遊びは学び　遊びは育ち　遊びは生きる力のエネルギー

～　遊びの中から　たくさんのことを学ぶ子ども　～

こんな子どもに育てたい

どろんこ遊び砂遊び　遊びは何でも大好きで　友だちたくさんいて虫や動物や花が好き
時々けんかやちょっぴりいたずらをして　おかしい時には大笑い　悲しい紙芝居や
童話には涙ぐみ　叱られるとしゅんとなり　ほめられると有頂天になって喜ぶ
返事　挨拶のしつけ　けじめだけはしっかりして　眼はキラキラ輝いている
こんな　子どもらしい子どもに育てたい　～高橋系吾氏言より～引用

どろんこ遊び

すな遊び

『人生に必要な知恵は　すべて幼稚園の砂場で学んだ』（ロバート･フルガム）

- ○ 子どもの知恵は、どろんこ遊び・すな遊びから生まれます。
- ○ 解放感や満足感を味わう事ができ、先生も一緒になって元気いっぱい遊びます。
- ○ 足の裏は『第２の心臓』と言われており、裸足になって遊ぶ事は脳の発達を刺激し、たくましい体を作ります。
- ○ 雨上がりの園庭・水たまりは最高の遊び場です。

知性(知)、感情(情)、意志(意)、のバランスのとれた心豊かな子どもを育てます。

知
芽をのばす

創造力・判断力
想像力・思考力

色々な事柄に興味を示し、考え、工夫し、ためし、のびのびと表現する。

情
養　う

感謝と慈愛の心
うるおいのある心
美しい心・
豊かな情操（夢）

美しい心、優しい心を持ち、友だちと仲良く協力し合う。常に感謝の気持ちを持ち、素直に心から「ありがとうございます。」と言える。

意
身につける

がんばる力（根気）
生き生きと行動する力
健康でたくましい力

心身共に健全で強い意志を持ち、明るくのびのびと行動する。

年間教育目標とねらい

１学期	２学期	３学期
適応の時期	発展の時期	充実の時期

★満３歳児の年間目標

・新しい環境に親しみ、年上の友達や保育者に見守られている安心感を持ち好きな遊びを楽しむ。
・基本的な生活習慣を身につけ、のびのびとした園生活を送る。

★３歳児の年間目標

・園生活の流れがわかり、身の回りの始末を自分でしようとする。
・基本的生活習慣が身につき、自信を持ってのびのびと行動する。
・進んで異年齢の友達と関わり、信頼感や愛情を持って活動に取り組む。

★４歳児の年間目標

・異年齢の友達と刺激を受け合い、思いやりや協調性を持って相手の気持ちを受容する。
・いろいろな遊びに興味を持ち、保育者や友だちとの関わりを広げる。
・身近な環境に興味・関心を持ち、発見を楽しんだり、考えたりする。

★５歳児の年間目標

・主体的に活動に取り組み、友だちを認め合ってグループ遊びが進められるようになる。
・年長としての役割を自覚し、意欲的に活動する中で年下の友だちとのかかわりを深め思いやりやいたわりの気持ちを持つ。
・自然や身近な事象に興味・関心を持ち、好奇心や探究心を高めていく。
・就学に向けて目標を持ち、自覚と自信を持って行動する。

☆お子様の発達、療育等に関してのご相談がある場合は、必ず入園前にご相談ください。

宮竹幼稚園の充実した環境

子ども達にとって素晴らしい施設・環境の中で、安心・安全に過ごすことができ、笑顔あふれる幼稚園生活が送れます。

広い園庭

園庭には、子どもたちの笑顔と元気な声が溢れています。

室　内

木のぬくもりを感じ、開放的で明るい室内です。

スクールバス送迎

安全第一を考えて送迎をします。

ボルダリング

腕や脚だけでなく、全身の体幹が鍛えられ、集中力や忍耐力を養いながら、楽しめる遊び場です。

ＩＣＴによる打刻

毎朝、個人持ちのキーホルダーで打刻し、子ども達が登降園したかを確認します。

ドリームグランド

四季折々の草花が咲き乱れ自然豊かな遊び場です。